

編集後記

この度は、文学部案内冊子 2026『LiteraSea ～文学部の海へ～』をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。本冊子では、特定の分野への能力を意味する“Literacy”を、文学部を意味する“Literature”と海を意味する“Sea”で表記しております。設置されているコースの学問領域の広大さと、そこに所属する教員・学生の個性の多様さを感じていただければ幸いです。

本冊子は、教員・学生など、多くの方にお力添えいただき、完成いたしました。ご協力いただいたすべての方へ、この場をお借りして御礼申し上げます。

文学部案内冊子 2026 編集スタッフ一同

この冊子は、文学部・文学研究科教育促進支援機構の学生スタッフが中心となって企画・取材・原稿作成・編集・校正し、作成しています。学生スタッフは毎年ユニークなテーマを設定し、それに基づいた冊子を制作しています。

今年のテーマは「LiteraSea」です。このテーマを初めて聞いたとき、私は「上手い!」と感じました。2025 年 9 月に森之宮キャンパスがいよいよ開学します。この冊子を手にとったあなたも、大阪公立大学文学部で、海のような広大な学問分野を深く探求してみませんか？

文学部案内冊子 2026 編集委員会編集委員長
木村 義成

教員紹介



文学研究科案内



編集スタッフ

企画

2年生

岡本 健太（けんてい〜）

川原 広（きやわ）

黒川 真奈（くろ）

福住 彩果（あーちゃん）

飯田 有梨（いだゆり）

サポート

4年生

北林 未朱（みあか）

1年生

池畑 和（なご）

高芝 慶太郎（たかしば）

松本 陽也（はるちゃん）

山本 愛瑠（あいる）

LiteraSea ～文学部の海へ～

大阪公立大学文学部公式案内冊子 2026

企画 / 編集：大阪公立大学大学院文学研究科・文学部
文学部・文学研究科教育促進支援機構

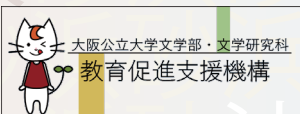
発行：大阪公立大学大学院文学研究科・文学部
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
〒536-8525 大阪市城東区森之宮 2-1-132
(2025 年 9 月 24 日 (水) 開学予定)

ホームページ：https://www.omu.ac.jp/lit/

発行日：2025 年 8 月 9 日

デザイン編集協力：(有) 松本工房

印刷：(株) ケーエスアイ



※本冊子に掲載されている情報は2025年8月現在のものです。最新情報はホームページ等でご確認ください。

文学部案内冊子

Litera Sea ～文学部の海へ～

大阪公立大学

文学部

案内冊子 2026

surfboard
surfboard
surfboard



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

学部長インタビュー・・・03

哲学歴史学科

- 哲学コース・・・04
- 日本史コース・・・05
- 世界史コース・・・06

人間行動学科

- 社会学コース・・・07
- 心理学コース・・・08
- 教育学コース・・・09
- 地理学コース・・・10

言語文化学科

- 国語国文学コース・・・11
- 中国語中国文学コース・・・12
- 英米言語文化コース・・・13
- ドイツ語圏言語文化コース・・・14
- フランス語圏言語文化コース・・・15

文化構想学科

- 表現文化コース・・・16
- アジア文化コース・・・17
- 文化資源コース・・・18

学生生活

- 受験体験記・・・19
- キャンパスライフ・・・20, 21
- 留学 / 資格 / 進路・・・22
- 支援機構について・・・23



文学部・文学研究科教育促進支援機構
公式マスコットキャラクター
いてらちゃん

学部長インタビュー

大阪公立大学文学部の魅力を教えてください。

大阪公立大学文学部の第一の魅力は、本当の意味での少人数教育です。学生と教員との距離が近く「時間と空間の共有」による共同での学びを提供します。その共有には大学院生や留学生、あるいは社会人など、多様な人々も参加します。第二に、現実の社会に踏み出してのフィールドワークや社会実践、生の一次資料を用いた分析など、ホンモノとその手触りも重視しています。第三に、2025年秋の森之宮キャンパス開設によって、大阪城にほど近い都心に立地する「知の森」で学べることも大きな魅力です。こうした特徴を持つ学びを通じて、人間について深掘りする——これが文学部の魅力です。

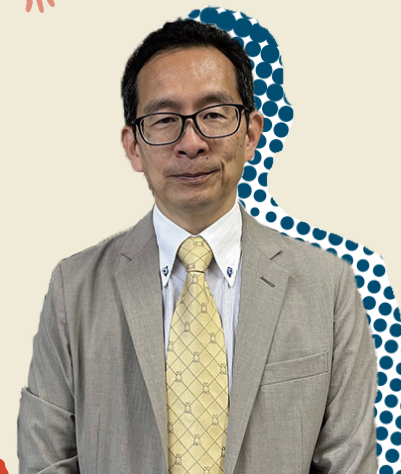
そもそも「文学部」とは何を学ぶ学部ですか。

世界でも、地域でも、混沌とした不透明な状況が展開されている現在、人間を中心に据えた文学部の意義はいよいよ高まっています。多様な人々と協働しながら、政治・経済・社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる人間の育成を文学部は目指しています。

文学部は伝統的な一文字学部の一つで、しかも「文」を学ぶ場です。人間が作り出した言語・文学・思想や歴史、それらを含めた文化に加え、人間が構築した社会とそこでの人間の行動についても対象とします。人間を中心に据えて、人間そのものや人間が作り出した多様な物事を深掘りすることで、私たち個人や社会にその軸となる考え方を与えてくれる、これが文学部での学びだと思います。

読者の皆様へ一言お願いします。

文学部では、学生の皆さんが、自身の良さや可能性を認識し、同時にあらゆる他者を価値ある存在として尊重できる人間に成長することを支援します。ぜひ私たち教職員と「時間と空間を共有」し、「ホンモノと手触り」を体感しながら、「人間について深掘り」しましょう。森之宮キャンパス最上階の「知の森」へ——人間とその思想・歴史・社会・言語・文化の多様性と豊かさを再発見する旅に出かけましょう。



文学部・文学研究科長
さが あした
佐賀 朝先生

これまでのあゆみ

- 一九四九 大阪市立大学に法文学部文学部創設（十二専攻）
- 一九五三 法文学部を解体して文学部創設（十専攻）
大学院修士課程設置（六専攻）
- 一九五五 大学院博士課程設置（七専攻）
- 一九五六 米軍に接収されていた杉本キャンパスに帰還
- 一九六八 学部五学科十一専攻（三コース）に改組
- 一九七一 大学院を前期博士課程・後期博士課程に改組（十二専攻）
- 一九九八 学部三学科十五コースに改組
正式名称が
- 二〇〇一 「大阪市立大学大学院文学研究科・文学部」に
文部科学省「二十一世紀COEプログラム」
採択
- 二〇〇二 創設五〇周年を機に「文学部・文学研究科教育促進支援機構」発足
- 二〇一〇 三学科十三コース二領域（学部）
四専攻（十四専修）に改編
- 二〇二〇 大学院四専攻十六専修、
学部四学科十五コース（二領域）に再編
- 二〇二二 大阪市立大学と大阪府立大学が統合し
大阪公立大学発足
大学院四専攻十七専修、
学部四学科十五コースに再編
杉本キャンパスから森之宮キャンパスに移転



哲学歴史学科 その① 世界を一変させる根本的問いと開かれた対話

理性による反省を通じて、これまで当然と思われてきた自らの世界観を一変させ、まったく別の可能性に目を開く試み、それが哲学という営みの一側面と言えます。様々なトピックに関して多かれ少なかれ、こうした「コペルニクス的転回」をしかけることが我々に課せられた重要な仕事です。哲学コースでは、先人たちの思想に学び、時代や文化をまたぐ対話を重ねながら、主体的に問いかけ思考する力を養うための訓練の場を提供します。そのテーマは広大で、世界と自己の根本的構造、善や美の本質、神と人間の関係といった伝統的な問題に加えて、これから生じるアクチュアルな諸現象も射程に収め、潜在的にはあらゆる事柄が探究の対象となります。



准教授
さこん たけし
佐金 武先生

哲学コース



【コースの取り組み】

演習科目はもちろん講義科目を含め多くの授業では、学生の主体的な学びを促す様々な工夫がなされています。また、哲学教室が提供する課外活動として、「フッサール勉強会」、「分析哲学勉強会」、「カント読書会」など、多くの勉強会が自主的に開催されています。さらに、一般にも広く開かれた「哲学サロン」も定期的に実施されています。詳細は哲学教室のウェブサイト、「reading groups」のページをご覧ください。URL : <https://www.omu.ac.jp/lit/philosophy/reading/>

——卒業論文タイトル紹介——

ユーモアを評価する方法と評価基準の検討
ミュージカル「エリザベット」が提示する生のあり方
「食べる」とは何かを考える 一カニバリズムの事例から一

【コースを選んだきっかけは何ですか？】

昔から、名前を持つ「何者か」になろうと悩んでいました。自分自身や、自分がしていることの意味を外側に求めていました。「哲学に触れ、価値や意味は『もの』にあるものではなく『人』が見出すものなのだと考えるようになりました。私が何者かは、私自身で決めることなのです。」私が大事にしている先生の言葉です。すべてを自分で決める世界は自由ですが、ひどく孤独です。今は、その孤独な世界をいかに他者とつなげられるかを考えています。

【コースの魅力は何ですか？】

「自分の目を見開いて、自分自身の疑問に取り組んでください。たとえ間違っていたとしても、自分の考えにこそ価値があります。」
先生方は一人一人の考えに正面から向き合ってくれます。対話を通じてぶつかり合い、みんなで答えを求めて、あがけるのが哲学コースの魅力です。一緒に苦しまう！



3年生
たけい ひであき
武居 秀明さん

★ 教員紹介

仲原 孝 特任教授 宗教学、宗教哲学
なかはら たかし ※2026年3月退職予定

高梨 友宏 教授 美学、西洋哲学史
たかなし ともひろ

土屋 貴志 准教授 倫理学
つちや たかし

佐金 武 准教授 分析哲学、現代形而上学
さこん たけし



哲学歴史学科 その② 歴史の実際を追究する力をつけ現在を考える

考古・古代・中世・近世・近現代の5名の教員、学部生約30名と大学院生約30名が、ともに日本史に取り組んでいます。各時代の史資料を読む講読、学術書や論文等を読む演習を経て、各自のテーマで卒業論文に取り組みます。ある時期ある地域で生じた歴史的展開の実際はどうであったのか、史資料にもとづく分析により具体像を再構築してもらいます。授業以外にも、各時代での調査や研究、読書会や研究会、見学会・見学旅行が活発に行われています。また日本史全体での地域調査や史料整理も行っています。本校からの大学院進学者、外部の大学からの大学院入学者も多く、研究者や文化財専門職、博物館学芸員などの専門職に多くが就職しています。



教授
きしもと なおふみ
岸本 直文先生

日本史コース



【コースの取り組み】

和泉市において、日本史研究室と和泉市教育委員会および地元町会による「合同調査」を続けています。江戸時代の村を単位に、事前準備を経て、地元に残る近世・近代の文書調査、生活の変化についての聞き取り調査、地形・集落・寺社・墓地・耕作地などの現地調査を9月に3日間実施しています。これらを総合し、江戸時代以降の地域のあり方や変化を年度末までにまとめます。歴史の実際を知り考える機会としています。

【コースを選んだきっかけは何ですか？】

始めは日本史コースと観光を学べる他のコースで迷っていましたが、自分が小学生の頃から日本史が好きだったこと、「人間文化基礎論1b」の授業で、自分が住んでいる町に関する調査・発表をしたことでより日本史に興味を持ったこと、この2つがきっかけとなり、日本史コースを選択しました。

【コースの魅力は何ですか？】

先生方の専門分野は考古学、古代～近現代と幅広く、研究の自由度が高いです。また、授業では実際の史料を現代語になおしたり、内容について考察し発表したりします。始めは難しそうだと思っていましたが、授業を受けていくにつれて1つの史料で分かることの多さに気づき、面白いと感じるようになりました。



3年生
かわさか よしひろ
川阪 佳弘さん

——卒業論文タイトル紹介——

墳頂の方形壇と埴輪群の変遷
織田政権の拠点安土の形成と展開
大阪婦人会館史料から見る大阪の国防婦人会
一大日本国防婦人会関西本部会館を中心に一



★ 教員紹介

岸本 直文 教授 日本考古学
きしもと なおふみ

磐下 徹 准教授 日本古代史
いわした とおる

仁木 宏 教授 日本中世史
にき ひろし

齊藤 紘子 准教授 日本近世史
さいとう ひろこ

佐賀 朝 教授 日本近現代史
さが あした



哲学歴史学科 その③ 多様な世界の展開と交流の歴史を知る



人類の歴史が始まってから、さまざまな社会・文化圏が展開し、相互に交流しながら現在に至っています。現在の日本も、中国由来の漢字文化や、衣食住に対する欧米の影響が示すように、広い世界との交流の中で形成されてきたものです。そうした社会の発展のありようを、国・地域や時代を定めて探求するのが世界史コースの学びといえます。世界史コースの教員の専門は、フランス、ドイツ、ビザンツ帝国、オスマン帝国、中央アジア、中国、ユーラシア大陸を中心にカバーしています。世界史のあつかう世界の広がりを見ると、十分なものとは言えないかもしれませんが、多様な世界の展開と交流を知る手がかりを提供できています。



教授
きたむら まさふみ
北村 昌史先生

世界史コース



【コースの取り組み】

世界史コースで重視しているのが、研究対象とする地域の言語の習得です。複数ある講読の授業では、現在は授業として開講していない言語を含め、英語、漢文、フランス語、ドイツ語、ロシア語、トルコ語、ラテン語などを扱います。新しい言語を習得するのは、自分の世界が広がるように感じるものです。習得した言語をもとに、対象となる社会の歴史に肉薄することになります。写真は、私が担当しているドイツ語講読の「西洋史講読B」の光景です。

——卒業論文タイトル紹介——

『新バシレイオス伝』に見る死後世界譚の創作・編集・受容：東方正教世界の物語と政治文化

1582年のオスマン帝国祝祭における細密画と文字記録の比較分析

トーマス・マンのナチズム理解 —『ファウストウス博士』の分析を中心に—

【コースを選んだきっかけは何ですか？】

高校時代、多様な文化や価値観に触れられる世界史に魅了され、大学ではその学びをさらに深めたいと考えていました。入学後は他分野にも惹かれましたが、世界史への関心は変わらず、より高度な学びを求めて世界史コースを選びました。



3年生
みやた りん
宮田 凜さん

【コースの魅力は何ですか？】

多様な興味を持つ学生が集い、幅広い視点で学べるのが世界史コースの魅力です。先生方も熱心で親身に指導してくださるおかげで、参加型の授業を通して学びが深まり、自分の世界が大きく広がっていくのを感じます。

人間行動学科 その① 眼に見えない「社会」を経験する



日頃の暮らしから思いついた疑問や、自分の実存やアイデンティティに関する悩み、世の中で取り上げられている大きな社会問題、本を読んで興味をもった問題への知的好奇心など、「社会学」という学問への入り方は人それぞれです。しかし、ただ頭で考えるだけではなく、実際に足で歩いて見聞きし、データを分析して新たな知見を得るのが、「経験科学」としての社会学です。社会学コースでは、ふだん出会うことのない世界の人に話を聞いたり、統計的なデータを分析して、自分の思い込みとは違う結果に驚いたりする「経験」を大事にします。そうした経験をつうじて世界が広がり、眼に見えない「社会」の仕組みを理解することができます。



教授
かわの えいじ
川野 英二先生

社会学コース



【コースの取り組み】

社会学コースでは、社会調査の方法を体系的に身につけるカリキュラムが用意されており、卒業時には「社会調査士」という専門資格が取得できます。2年生で基礎を学んでから、3年生では「社会学実習」という授業で1年間を通して、フィールドワークをしたりデータ分析をしたりして、チームで共通のテーマに取り組み、報告書を作成します。4年生では自分のテーマで調査やデータ分析を行い、卒業論文が書けるようになります。

【コースを選んだきっかけは何ですか？】

高校生の時に社会学の存在を知りました。入学してから文学部が開講している授業を履修して、社会学の幅広さを知り興味を持ちました。入学当初は他のコースに興味があったのですが、調査やインタビューの方がしっくりきたため、社会学を選びました。



3年生
ひらつか しょうた
平塚 聖大さん

【コースの魅力は何ですか？】

社会学は研究対象が幅広く研究方法もさまざまで、統計的分析、内容分析、アンケート調査、インタビュー調査、フィールドワークなど多くの研究方法を学ぶことができます。この点は社会学コースの大きな魅力だと思います。社会学は社会問題だけ研究しているとよく誤解されますがそんなことはなく、社会学的な視点に基づくことで、身の回りの多種多様な事象について研究することができます。

教員紹介

石田 佐恵子 教授
いした さえこ

映像社会学、
メディア文化研究、
知識社会学

伊地知 紀子 教授
いぢち のりこ

生活世界の社会学、
地域社会学、
朝鮮地域研究 / 社会学

川野 英二 教授
かわの えいじ

都市・社会政策の社会学、
比較社会学

平山 亮 准教授
ひらやま りょう

家族社会学、老年社会学、
ジェンダー研究

金 希相 准教授
きむ ひさん

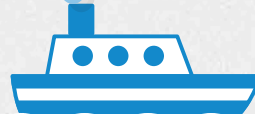
都市社会学、国際社会学、
住宅研究

——卒業論文タイトル紹介——

母子世帯における子どもの教育達成 —親の関わりが中学生の成績と教育アスピレーションにもたらす効果

女子サッカーへの障壁と可能性としての生涯スポーツ

新しい社会問題としての盗撮 —告発者・加害者・被害者の視点から—



人間行動学科 その② 心の法則性を解き明かす



人間の営みは、実に多様で複雑です。

心理学は、その背景にある心の働きの法則性を明らかにし、人間について理解を深めようとする学問です。たとえば、同じ状況に置かれていても、感じ方や考え方が人によって異なるのはなぜでしょうか。集団の中にいるとき、私たちの心が一人であるときと違う働きを示すのはなぜでしょうか。記憶や推論はどれほど正確なのでしょう。人間と動物の心には、どのような共通点や違いがあるのでしょうか。心理学コースでは、こうした疑問に答えるべく、実験や調査といった科学的な手法を通じて、心の働きやその規則性や法則性に迫ります。心について探求してみたいと考えている人なら、どなたでも歓迎します。



准教授
はしもと ひろふみ
橋本 博文先生

心理学コース



【コースの取り組み】

心理学コースに配属された学生が、学問としての心理学にはじめて触れるのが「心理学実験演習1・2」です。この授業では、心理学における代表的な実験を手がかりに、その手法、データ収集の流れ、統計的な処理方法までを学びます。科学的手法を通して、心理学的な視点から人間や世界を捉える力を確かなものにすることが、この授業の目的です。内容は平易ではありませんが、学び終えたときには大きな達成感を得ることができます。

——卒業論文タイトル紹介——

推論課題における Feeling of Rightness の働き
ハトのリスク選択における報酬量効果

集団討議は人々の共生社会への態度をどのように変化させるのか？ —「自分ごととして捉える」ことの有用性の分析—



3年生
くすき なな
楠木 那奈さん

【コースを選んだ きっかけは何ですか？】

入学前から、興味のある心理学コースに進もうと決めていましたが、入学後に多様な分野の学びに触れ、その気持ちが揺らぎました。そんな時にコース選びの決め手となったのは、「人間行動学概論 A」や基幹教育の「心理学入門」を受講したことと、せっかく3年間学ぶのならずっと関心を寄せていた分野にしようと思ったことです。

【コースの魅力は何ですか？】

実験を通して「心」を科学的に研究するために必要な考え方を、実践的に身につけられることです。また、2年生の内から心理学のさまざまな領域の専門知識を学ぶ「特論」が開講されているので、心理学の専門分野について幅広く学ぶことができます。知識と技術を並行して身に付けつつ、早くから興味関心のある分野を見つけ、学びを深めていけることが最大の魅力だと思います。

生涯にわたる人の学びと成長を丁寧に捉える



教育学コースでは、生涯にわたる人の学びと成長に関する理論や実践を研究対象としています。いわゆる学校だけではなく、家庭や職場などありとあらゆるところで人は学び、成長していますので、それらがすべて教育学の対象となります。つまり、私たちにとって、とても身近な営みを研究することになります。そうであるがゆえに、これまでの被教育経験やそれにもとづく考えにとらわれすぎずに、さまざまな角度から教育や学びに関わる営みを丁寧に理解しようと努める必要があります。そのため、教育学コースでは、授業でも授業外でも、自己や他者との対話を重視しています。



准教授
しまだ のぞみ
島田 希先生

教育学コース



【コースの取り組み】

各教員が担当している「教育学演習 A～E」では、教育学に関わる文献の読解やそれにもとづくディスカッションを行っています。「教育学実習」では、大阪市内の学校園でボランティアとして活動し、学校の現場に触れながら、教育学的なものの見方を獲得することを目指します。そのほか、研究会やセミナーを通じて、学部生、大学院生、学外や海外の研究者がお互いの垣根を越えて交流するための機会が多く設けられています。

【コースを選んだ きっかけは何ですか？】

入学前はメディアに関心があり、当初は別の学問を学びたいと考えていました。しかし、教育学の中にもメディアに関連する分野があることを知り、加えて、社会教育や生涯教育といった分野にも興味を持つようになったため、教育学を選びました。

【コースの魅力は何ですか？】

教育学には明確な答えのない問いが多く、グループディスカッションや教員との対話を通して考えを深められる点に魅力を感じています。先生方は皆親切で、意見を安心して交わすことができる雰囲気が整っていることも魅力の一つです。



3年生
おかもと りお
岡本 莉緒さん

——卒業論文タイトル紹介——

中学校社会科公民的分野における教師のカリキュラムデザインに影響を及ぼす要因

学生オーケストラ活動における「シェアド・リーダーシップ」の一考察

家庭教育における〈尊重〉の再検討 —その広まりの背景と変化する親子関係に着目して—



人間行動学科 その④ 「どうしてこの地域こんな風なの？」を問う

地理学コースには教員 4 名と学生を合わせ約 50 名が所属しています。地理学の基本的な問いは「どうしてこの地域こんな風なの？」を説明することだと私は思っています。そのため机の上で研究するだけでなく、現場に出て人に会い、その地域を味わい尽くすことが大事です。2 年生は地理学に必要なフィールド調査と資料分析の基礎スキルを身につけます。3 年生は引き続き前述のスキルを磨くとともに、学術文献を読み地理学研究の視角を養います。4 年生では一人ひとり独自の調査を行いながら卒業研究を行います。卒業後の進路は企業、教員、公務員など多様かつ例年堅調です。また本教室は地理学研究者養成の拠点でもあり、大学院も充実しています。



コースを選んだ きっかけは何ですか？

地理学コースの先輩と先生に直接話を聴いて、場所と空間に関することならなんでも研究テーマにできる点に魅力を感じ、このコースを選びました。入学前から観光や地方創生に興味があったのですが、現在は新宗教の建築物とそれに対して人々が抱くイメージに関心があります。

コースの魅力は何ですか？

地理学的な視点や思想について理論で学べる授業もあれば、フィールドワークで実践的に吸収できる授業もあります。「どうしてここはこうなっているのか」、事前の調査で得られた情報と併せて考えることで、まちあるきがより楽しくなります。希望すれば、自主ゼミや食事会、不定期のフィールドワークに参加することも可能で、他学年の学部生や院生、先生との交流も盛んです。



教員紹介

山崎 孝史 教授 やまざき たかし	政治地理学、沖縄研究
祖田 亮次 教授 そだ りょうじ	地理学、地域研究
木村 義成 教授 きむら よしなり	地理情報学
菅野 拓 准教授 すがの たく	都市地理学、サードセクター論

【コースの取り組み】

なんといっても「野外調査実習」、つまりフィールドに出て実際に調査することが地理学コースの醍醐味です。「机上の空論」という言葉がありますが、フィールドに出てみると今まで考えていたことが通用しないことが多くあります。もちろん机上の研究も大事ですが、見知らぬ地域で人に会い、その地域を味わい尽くす経験を組み合わせることで、新しい知恵を紡ぎ出すことができます。

卒業論文タイトル紹介

大阪・日本橋におけるサブカルチャー系の店舗の集積とその変容 一外国人観光客需要とコロナの影響を中心に一

「伝統野菜」の純粋性と地域性 一大阪府における取組みから一

統計指標に基づいた地方型サテライトオフィスの立地分析と類型化の試み 一和歌山県の事例研究を踏まえて一

言語文化学科 その① 国語国文学に関する未解決の問題に挑む！

国語国文学コースでは、あらゆる時代の日本語と日本の文学作品を研究対象にしています。授業では、その中から具体的なテーマを取り上げますが、そこで学ぶのは「知識」よりも、対象を実証的に分析するための「方法」です。演習の授業では、この「方法」を実際に学びながら、学生自身が未解決の問題に取り組みます。すぐに答えが出る問題はほとんどありません。しかし、まずは「どこに問題があるのか」を発見する力を養うことが研究の第一歩となります。テーマを適切に設定すれば、学部生でも高いレベルの卒業研究が可能です。そこが、中学・高校時代から親しんできた日本語・日本文学を研究対象とする本コースならではの強みと言えるでしょう。



コースを選んだ きっかけは何ですか？

以前から古典や現代文が好きで、教員免許を取りたかったということもあり、他のコースと悩んでいましたが、概論の授業で他コースの内容も学んだ結果、やはり国文学に強く惹かれました。また1年生で「国文学史C」をとったことで、国語国文学コースで学ぶ内容や面白さが具体的にわかったことも、このコースを選出した決め手となりました。

【コースの魅力は何ですか？】

このコースでは、様々な時代の文学作品や言語を、豊富な文献や資料を用いて読み解くことができます。一見すると独立していそうな作品であっても、多様な文献を用いて粘り強く調べていくと、どこかで繋がりが見えてきます。それを頼りに仲間と議論を重ね、考察を練り上げていく楽しさがあると思います。



教員紹介

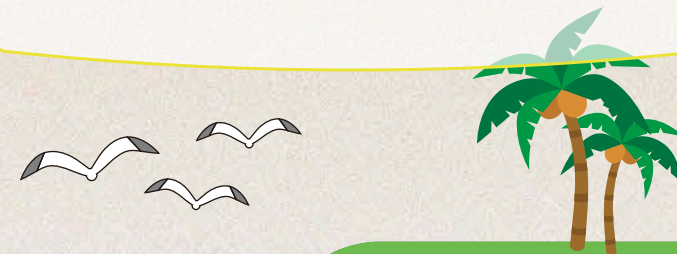
丹羽 哲也 特任教授 にわ てつや	日本語学 ※2026 年 3 月退職予定
山本 真由子 准教授 やまもと まゆこ	日本中古文学
小林 直樹 教授 こばやし なおき	日本中世文学 ※2026 年 3 月退職予定
久堀 裕朗 教授 くぼり ひろあき	日本近世文学
奥野 久美子 教授 おくの くみこ	日本近代文学

【コースの取り組み】

本コースでは、毎年、文学にゆかりのある場所を訪れる日帰りの研修旅行を行っています。教室を出て、現地に足を運ぶことも重要です。コース行事ではありませんが、「上方文化講座」では、伝統芸能の文楽に実際に観る機会もあります。また、最近、文学部には何万冊もの講談本コレクションが寄贈されました。他にも本学には多くの古典籍が所蔵されています。授業では、そうした本物の資料に触れる機会を積極的に提供しています。

卒業論文タイトル紹介

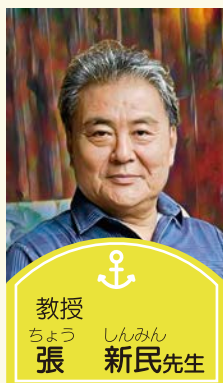
「かわいい」関連語の意味変遷について
『雑談集』における「誑惑」一着眼の独自性一
講談本『敵討葛の葉』の成立事情と当時の出版状況



中国の言語・文学・文化を学び、多様な中国に出会う

言語文化学科 その②

本コースで研究対象とする〈中国〉は、中国大陸のみならず、台湾、香港、また東南アジアの華人世界など、広く中華圏を指します。教員は映画などの表象芸術を中心とした文化研究、古代から現代に至る中国語の歴史的展開に関する語学研究、作品を通して作者と対話しつつ当時の社会や風俗、文化、政治の状況を対象とする文学研究などに取り組んでいます。留学生も多数在籍していて中国文化を身近に感じながら勉強することができます。1年生と2年生は中国語の応用力を身につけ、文学や文化の概論を学びます。3年生と4年生は発表形式の演習授業が多く、文学作品や映画・漫画を分析、議論します。4年生は卒業論文に取り組みます。



教授 張新民先生

教員紹介

張新民 教授 中国文化
大岩本幸次 教授 中国語学
高橋未来 教授 中国古典文学

【コースの取り組み】

授業は少人数で、和気あいあいとしています。中国語母語話者によるコミュニケーションの授業を提供しています。餃子作り会など、留学生との交流会も開催しています。中国文化や美術に関する展覧会・特別展の見学活動を行いました。昨年は、大阪市・上海市友好都市提携 50 周年記念特別展「中国陶磁・至宝の競艶—上海博物館 × 大阪市立東洋陶磁美術館」を見学しました。



【コースを選んだきっかけは何ですか？】

言語が好きで英語に興味があったため、当初は他のコースに進もうと考えておりました。入学後、初修外国語の授業で中国語に触れたことをきっかけに、中国語や、その背景にある歴史、文化についても深く学びたいと考えるようになり本コースを選びました。

【コースの魅力は何ですか？】

本コースには文学、言語、文化それぞれの概論や演習の講義があり、2、3年生の間に多角的に学びを深めることができます。また様々な研究をする上で必要な、現代中国語の力を向上させるためのカリキュラムも多数存在します。



4年生 山中郁子さん

——卒業論文タイトル紹介——

甲骨文における「人」の形
中国漫画・アニメ作品『非人哉』から見る中国の神獣—白澤に注目して—
陸游の人間像に関する考察—一夢の詩を手掛かりに—

Explore global ideas through the lens of English

言語文化学科 その③

In this course, you'll explore a wide range of topics through the lens of English, using insights from linguistics, literature, and culture. You might trace the historical roots of English grammar, reinterpret classic British and American literature through contemporary perspectives, critically analyze pop culture such as films and music, or compare cultural values between Japan and the English-speaking world—the possibilities for learning could get as broad as your curiosity.



准教授 Jean Lin 先生

教員紹介

豊田純一 教授 言語学、認知科学、文化人類学
高橋愛 教授 19世紀アメリカ文学
田中孝信 特任教授 19世紀イギリス文学 ※2026年3月退職予定
Jean Lin 准教授 美学、芸術論

【コースの取り組み】

To fully understand English literature, academic texts, and even the daily news or blog posts, you need more than just reading skills—you must grasp their meaning within historical and cultural contexts. Our classes help you build those interpretive skills. Some courses include presentations and discussions in English where you can express your opinion, exchange ideas, and sharpen your communication. Studying abroad is also a great option.



【コースを選んだきっかけは何ですか？】

英語や英語を通して触れることのできる文化がとても好きだったからです。また、得意を活かせると思ったからです。昔から英語圏の映画を見たり音楽を聴いたりするのが好きでしたが、本コースに所属してからは、英語圏の文学への興味も強くなってきたのが大きな変化だったと感じます。

【コースの魅力は何ですか？】

英米文学についての授業だけでなく、言語学や芸術、エッセイの書き方など、幅広く授業が設けられているのが魅力だと思います。またゼミは少人数で行われるので、丁寧な指導を受けることができるのも大きな魅力だと感じます。



4年生 林勇樹さん

——卒業論文タイトル紹介——

Great Expectations論 —Pipが紡ぐ密かな物語—
The Transition of British Children's Literature from Education to Imagination
肯定平叙文における迂言的 do のあり方 —イギリス英語の変遷と方言の観点から—
The Catcher in the Rye 翻訳 2 作品のカタカナ語に基づく比較

言語文化学科 その④ ドイツ語圏の扉を開いて世界に羽ばたこう

ドイツ語ならびにドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス等）に花開いた独自の文化・文学を研究対象とするコースです。講義科目では語学、文学、文化の各分野を広く概観し、この専門領域に関する基礎的な知見を蓄えます。演習科目では原書を読む力を養い、母語話者による授業では実践的なコミュニケーション能力を身につけます。教員はそれぞれの専門を生かして学生の幅広い関心に柔軟に対応します。自らの問題意識や知的好奇心を大切にして、疑問に思ったことはとことん調べ、ドイツ語を使って異文化やその背景にあるものの考え方に触れる楽しさを味わってください。この学びの先には皆さんが想像する以上に広い世界が開けてくるでしょう。



准教授
はせがわ けんいち
長谷川 健一先生

教員紹介

高井 絹子 たかい きぬこ	教授	20 世紀ドイツ語圏 文学・文化
長谷川 健一 はせがわ けんいち	准教授	18・19 世紀ドイツ語圏 文学・文化
信國 萌 のぶくに もえ	准教授	現代ドイツ語学、 言語学

【コースの取り組み】

母語話者による会話と異文化理解の授業があります。課外（参加は任意）では、シュタムティッシュと称した様々なイベント（映画鑑賞会、留学報告会、クリスマス会など）やハンブルク大学の学生とのオンライン授業を行っています。教室行事の遠足では、和気あいあいとした雰囲気のなかで相互に交流を深めることができます。留学生も参加します。楽しみながらドイツ語圏の文化を学びましょう。留学相談も随時受け付けています。

【コースを選んだきっかけは何ですか？】

はじめは漠然と「文化」に興味があり、いくつかのコースで迷っていました。そんな中、1年生のときに概論や基礎論の授業を受け、文化だけではなく言語にも興味が湧いてきたので言語文化学科を選びました。また、その中でも初修外国語であるドイツ語の授業が楽しかったのでこのコースに決めました。

【コースの魅力は何ですか？】

ドイツ語圏言語文化コースでは大きく分けて言語・文学・文化の授業があり、自分の興味関心に合わせて学びを深めることができます。また、初めはあまり関心がなかった分野でも授業を受けてその面白さに気づきました。少人数のコースなので、授業やそれ以外の活動で学生同士や先生方との距離が近いことも魅力だと思います。



3年生
まんだ さえ
萬田 咲瑛さん

——卒業論文タイトル紹介——

ドイツ語における新語の名詞の性とその傾向

反ナチ抵抗運動グループ「エミールおじさん」
—ナチス政権下の市民たちによる救援活動の実態—

ミヒヤエル・エンデの『ハーメルンの死の舞踏』(1993)
—現代作家による伝説の改変—

言語文化学科 その⑤ フランス語を通して、世界を再発見する

フランス語はヨーロッパだけでなく、北米やアフリカ、アジア・オセアニアなど、世界中のいろんな地域で使われている言語です。このコースでは、留学生をふくむ仲間たちと一緒に、実践的フランス語力を身につけつつ、多文化に触れることで、広い視野や考える力を育てていきます。卒論のテーマは自由度が高く、先輩たちはフランス語圏のメディアや余暇、ファッション、文化や文学、芸術、社会など、さまざまな問題を探究してきました。フランス語圏の大学への短期・長期の留学制度も充実しており、7月の巴里祭や12月のクリスマスパーティなど、授業外の交流イベントもたくさんあります。留学生も多く、フランス語を身近に感じられるコースです。



准教授
おおやま まよ
大山 万容先生

【コースを選んだきっかけは何ですか？】

入学時は海外に対する興味も薄く、初修外国語はフランス語ではありませんでした。しかし、コースを決めるときにフランス語圏言語文化コースの先輩と話す機会があり、このコースの魅力を知りました。そこで、フランス語を学習しフランス語圏について少し学んでみると、分からないことだらけでしたが、だからこそもっと知りたい、これを自分のものになりたい、と強く思いました。

【コースの魅力は何ですか？】

フランス語圏言語文化コースの授業はとても面白いです。コミュニケーションを取る場面が多く、いつも新しい考え方に会えることができます。先生方の語り口は軽妙でつい聞き入ってしまいます。フランス語はもちろん、文学・文化・教育などフランス語圏に関して幅広く学ぶことができ、フランス語圏への解像度が上がり、さらなる好奇心へと繋がります。



3年生
たちかわ ゆうか
立川 優花さん

【コースの取り組み】

3年生前期の「フランス語圏言語文化特別演習」（プレ卒論ゼミ）は、卒論執筆に向けた準備として、自分の関心からテーマを見つけていく授業です。各自、フランス語圏の言語文化と結びつけながら文献を読んだり調査をしたりして、考えを深めていきます。最初はフランス語に直接関係しないテーマでも、あえてフランス語圏の事象を見ることで視野が広がり、新たなものの見方が生まれます。さらに必要に応じて他の言語も参照し、複言語的な思考を養っていきます。

教員紹介

福島 祥行 ふくしま よしゆき	教授(兼任)	相互行為研究、 学習/教育論、 応用社会言語学
白田 由樹 しらた ゆき	教授	19 世紀末 フランス語圏文化
原野 葉子 はらの ようこ	准教授	現代フランス文学・文化
大山 万容 おおやま まよ	准教授	複言語主義、 複言語教育

——卒業論文タイトル紹介——

サッカーと排外主義について —メディア化される
サッカーにおける人種差別への闘いと植民地主義—
アルフォンス・ミュシャ作品における植物と女性の
象徴性

日本におけるマリー・アントワネット像の変遷
—漫画、ミュージカル、映画、小説、音楽を通して—



文化構想学科 ① 現代文化研究の理論と実践



表現文化コースは、現代社会の文化現象を「表現」という切り口から探求するコースです。ここでいう「表現」には、文学、美術、写真、演劇、映画などのいわゆる芸術表現だけでなく、社会や集団の価値観や感性を表現するファッションや広告、キャラクター文化やポピュラー音楽、アニメーション、マンガ、ゲーム、2.5次元舞台といったポピュラー文化も含まれます。さらに今日の文化を語るうえで外すことのできない二次創作やオンライン・コミュニティを舞台にしたコラボレーション型の創作活動も考察の対象です。



教授
えびね たけし
海老根 剛先生

教員紹介

増田 聡 教授 音楽学、メディア論
ますだ さとし

海老根 剛 教授 表現文化論、ドイツ研究
えびね たけし

江村 公 准教授 近現代芸術論、ロシア研究
えむら きみ



【コースの取り組み】

コースに進学した2年生はまず「表現文化論基礎演習」という授業を履修します。この授業では小説、マンガ、絵画、映画、演劇、現代美術といった多様なジャンルの作品を取り上げ、それぞれの表現の特徴を学びながら、作品を考察する手法を実践的に身につけていきます。

3年生になると「表現文化論特殊演習」を受講します。この授業は二名の教員がつねに議論に参加するコーティーチングの手法を導入したユニークな授業です。

——卒業論文タイトル紹介——

フルアニメーション/リミテッドアニメーション再考
—運動それ自体から考える—

グリム童話「美女と野獣」の類話 (ATU425A, 425C, 440)
における女性像 —フランス民話とグリム童話の比較—

ビデオゲームにおけるキャラクターカットイン分析
—フィクションとゲームメカニクス、時間の視点から—



3年生
みやえ さな
宮栄 紗那さん

【コースを選んだ きっかけは何ですか？】

入学以前よりメディアと共に宗教や文化に関心があり、1年生では多くのコースの授業を受講しました。その後、メディアを研究の対象として考えたいと思うようになり、先生方や授業の雰囲気もあって本コースを選びました。また、本校の交換留学先の大学でメディアを学ぶことができることも大きな決め手となりました。

【コースの魅力は何ですか？】

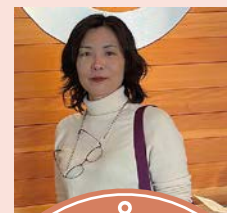
映画・アニメ・音楽等、様々な形態の表現を学問的な視点で見つめられるようになるのが最大の魅力だと思います。文化を定義から理論的に学び、関心あるテーマを見つけ、深めることができます。授業はディスカッションやグループワーク形式のものが多く、活発かつにぎやかでありながらも真剣な雰囲気の中で新たな学びを得られます。

文化構想学科 ② アジアの融合&アジアの相乗を考えよう



アジア文化コースでは、アジア文化への深い理解をもとに、われわれが生きる〈いま〉の社会の諸問題を分析・検討し、共感・共生社会に求められる文化のあり方を構想します。古くより、豊かな「アジア世界」の人々は多様な文化・言語・宗教などを育み、輝かしい文明を築いてきました。大阪の歴史と文化も、それと大きく関わっています。本コースでは、「地域」「比較」「伝統」「共生」をキーワードにして、アジア文化のダイナミズムを総合的に探求します。

近代以降のアジアは、世界秩序という枠組みとグローバル化のなかで、多種多様に発展しています。日本をふくめた「アジア」に関わる研究の問題系は、全世界に、無尽蔵に、広がっています。



教授
ほり まどか
堀 まどか先生



【コースの取り組み】

コースでは、「地域」「伝統」「比較」「共生」などのキーワードを軸に、さまざまな方法論での授業を展開しています。また、多言語作家、ジャーナリスト、ドキュメンタリー映画監督など、大学教育の外からも講師をお招きして、現代社会の問題や課題を考える講演会を開催しています。また、学習散歩イベントの企画なども行なっています。詳しくは、大阪公立大学文学研究科アジア文化学教室HPをご覧ください。

URL : <https://www.omu.ac.jp/lit/asia/>

【コースを選んだ きっかけは何ですか？】

入学前は、小説や映画、音楽など文化について幅広く興味があり、文化構想学科のどのコースに入ろうか迷っていました。そのなかで、入学後に概論を受け、アジアの国々の様々な文化を比較しながら共生社会について考えるアジア文化コースに関心を持ち、このコースを選びました。

【コースの魅力は何ですか？】

このコースで学ぶ前は、何かにつけてアジアを一括りにしていましたが、それぞれ比較しながら伝統や多様性について学ぶなかで、アジア文化には非常に多様な価値観や背景が含まれていると知りました。授業では発表やディスカッションを通して各々の意見を交換できる場がたくさんあり、様々な考え方に触れて視野を広げることができます。



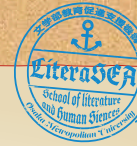
3年生
さとう すずな
佐藤 紗奈さん

——卒業論文タイトル紹介——

大正・昭和期の画家 橋小夢 —〈幻の画家〉と評されるようになった背景とは—

技能実習制度の実態 —大阪市の場合—

野田サトル『ゴールデンカムイ』によって広まるアイヌ文化



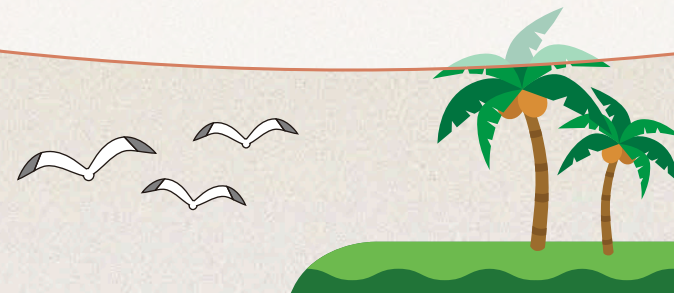
教員紹介

多和田 裕司 教授 文化人類学
たわだ ひろし

堀 まどか 教授 国際日本研究、比較文化学
ほり

宋 恵媛 教授 コリアン・ディアスポラ研究、在日朝鮮人研究、ジェンダー研究、日本研究
ソン へうおん

王 静 准教授 現代中国文化論、茶文化、観光
おう せい



リソース 文化構想学科 ③ (資源)としての文化を学ぶ



文化資源という文化遺産の保存と
いったイメージがありますが、本コース
では、絵画や建物・街並みといった「モノ」と
しての文化のみならず、演劇の上演や、イベン
ト、観光ツアー、アートワー
クショップなどの「コト」と
しての文化にも着目します。
文化資源コースの大きな特徴
は、座学による学びだけでなく、アートイベントの企画や
観光メディアの制作、まちづ
くりや地域再生に関する現地
フィールドワーク、音楽ワー
クショップの企画・参画、美
術館に関する企画などの実践的な取り
組みに関わることを通じて、文化
力を引き出すためのセンス
(感性)とメチエ(技能)
を体験的に養うことにあ
ります。



特任教授
おだなか あきひろ
小田中 章浩先生

文化資源コース



【コースの取り組み】

「視覚文化資源論演習・実習」
では、文化資源研究の視点と
方法に関するトレーニング
の後、それらを社会で活用
するためのプロジェクトを
実施します。「地域文化
資源論演習・実習」で
は、観光学やまちづくりに
関する文献の講読を行なっ
た上で、ツアーや観光まち
づくりのプランを企画し、学
生コンクールに出展したり、地
域づくりの現場に赴き、現地調査
を行なった上で、地域への提言を行
なったりします。

卒業論文タイトル紹介

ヒットチャートの変遷と、バンドとアイドルの影響関係
—billboard チャートの分析から—

文化資源としての「ポケモン」～キャラクターの活用が
もたらす新たな価値～

フェミニズム・アート研究 —「フェミニズム」の枠組みを
解放することの意義—



3年生
みつなが りこ
光永 莉子さん

【コースを選んだ きっかけは何ですか?】

アートや生活文化などに
元々興味があり、実践的に文
化を学べる文化資源コースに入
学前から惹かれていました。概論
を受けていく中で、自分は文化の面白
さや魅力を社会の中でどう生かしていく
か、どう広めていくかを特に学
びたいのだと気付き、「やっぱり私は文化資源コースだ!」と
確信しました。

【コースの魅力は何ですか?】

フィールドワークやプロジェ
クトの企画運営をする授業が多
いため、グループで協力し考え
て動くシーンが多いです。和気
あいあいとしながらも、みんな
真剣に向き合っていて、とても楽しくやりがいがあり
ます。また、実際にこの目で見て、感じて、やってみ
て、何が課題かを明らかにして、その解決策を探っ
ていくことが大切な学問だと思うようになりました。

教員紹介

菅原 真弓 教授 美術史学、文化資源学、
すがわら まゆみ 博物館学

小田中 章浩 特任教授 演劇学、表象文化論
おだなか あきひろ ※2026年3月退職予定

天野 景太 准教授 観光学、
あまの けいた 都市社会文化論

沼田 里衣 准教授 コミュニティ音楽療法、
ぬまた りい 臨床音楽学



文学部生に聞いてみた!

1年生にインタビューしました!



受験は根性!

点数なんて気にせず、
とにかく
「あきらめるな!」



前期合格・1年生
こしま なおや
小嶋 直弥さん

文学部を目指したきっかけは?

僕は長野県出身で関西にとっても憧れてい
ました。そこで関西の大学を調べている時
に公立大の文学部に僕の学びたい分野であ
る心理・教育を専門とするコースがあると
分かり、ここを目指そうと決めました。あ
と数学が壊滅的だったのがありますが(笑)。

勉強方法・モチベーションの 保ち方は?

僕が大事にしていたのは復習です。授業
内容も参考書もとにかく復習して完璧にな
るまで繰り返しました。
あとは根性。11月の模試で厳しい判定が出
ていました。でも根性だけで勉強し続けて
いたら合格できました。大事なのはどんな
点数だろうと気にせず、前に進むこと!

大学での楽しみは?

大学ではとにかくいろんなものに触れて
いきたいです。部活やバイトをしたり、趣
味を見つけたり、興味のあることをとこと
ん調べたりしてみたいです。高校時代は部
活で出ることの出来なかった大学祭もとて
も楽しみです。

高校の学びと大学の学びの 違いは?

高校までは幅広い知識を身につけること
が目的で、自分にとってあまり興味がない
授業でも受けなければならない。でも大学
では、自分の好きなことを選んで学ぶこと
ができます。自分が興味のあることを自ら
調べたり考えたりする機会が多くなるので、
能動的な姿勢がとても大事です!

自分なりのゴールに
向かって、諦めずに
一步一步進んでください!



後期合格・1年生
かがわ ゆいな
香川 唯那さん

文学部を目指したきっかけは?

文学部が扱うさまざまな分野に興味があ
ったものの、その中で何を専門としたい
のか、具体的に決められなかったからです。
大阪公立大学の文学部は、一年終了時に学
科とコースを選択するので、専門分野を決
めるのに猶予があり、そこがとても魅力的
に感じました。

勉強方法・モチベーションの 保ち方は?

小論文は解いた問題を学校の先生に添削、
解説してもらうという形式で勉強していま
した。相談や添削をしてもらえる存在は、1
人きりで勉強し続けて気が滅入ってしまう
ことを防いでくれて、モチベーションを保
つ助けになったと思います。

大学での楽しみは?

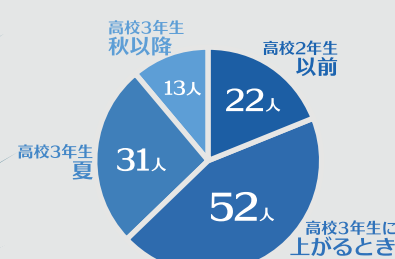
高校以前と比べて格段に自由度の高い生
活が楽しいです。例えば授業でも、自分の
興味のある好きなことを中心に勉強でき
ることがとても嬉しいです。また、授業の合
間や昼食時に友達と話すことも楽しいです。

高校の学びと大学の学びの 違いは?

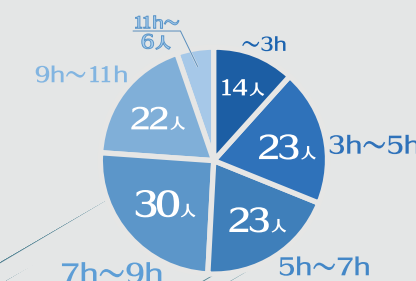
高校では決められたことを広く学ぶとい
う形でしたが、大学では自分の興味のある
ことを専門的に学ぶという形になります。
ただし、大学では高校以前で学んだ知識が
ある前提で授業が進むので、大学での学び
は高校での学びの延長だと言えるかもしれ
ません。

文学部生はどんな受験期を送ったのか?

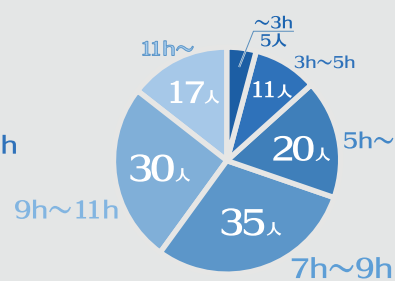
受験勉強を始めた時期



夏休みの一日の勉強時間

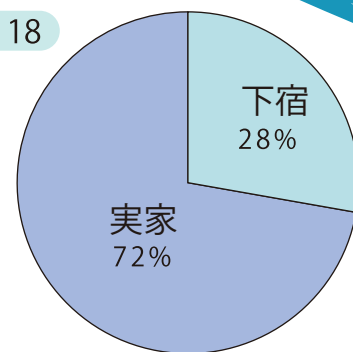
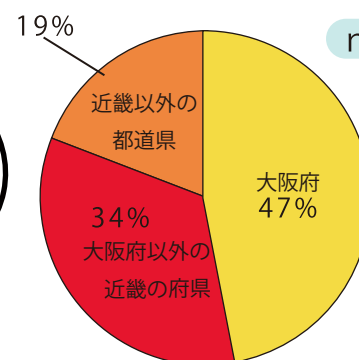


冬休みの一日の勉強時間

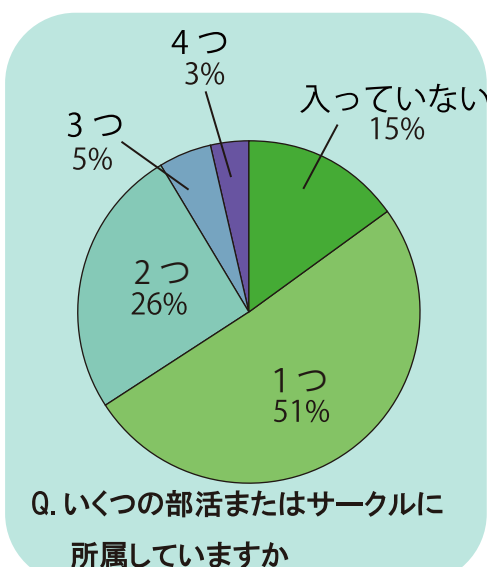
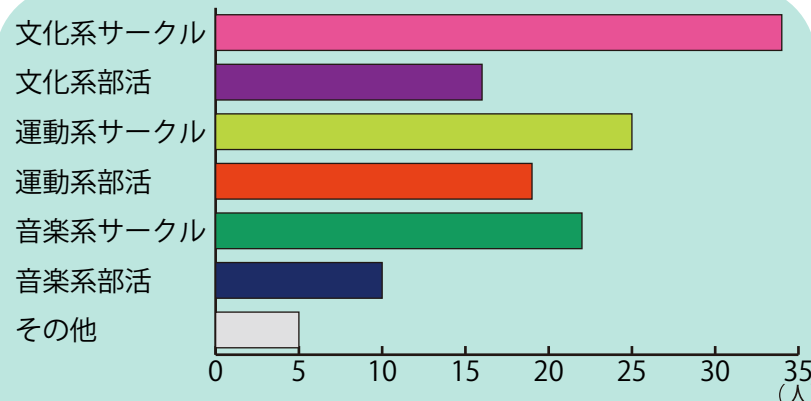


文学部生に聞いてみた！

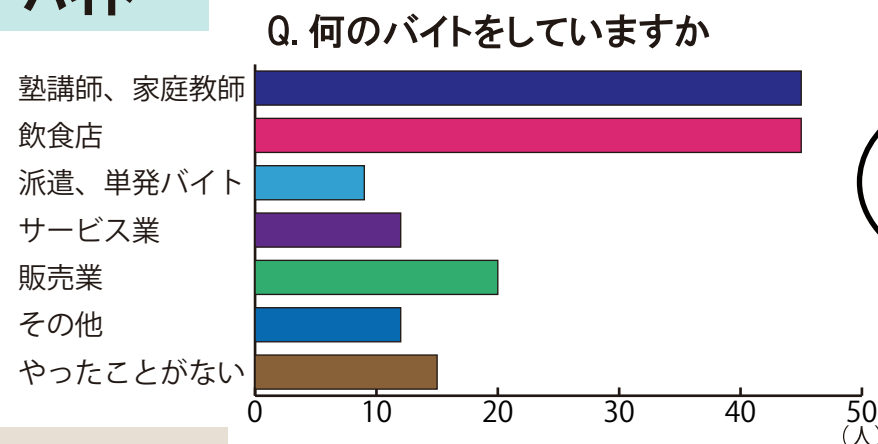
出身



サークル



バイト



バイトの具体例

採点バイト, テレビ局裏方, 教育支援サポーター, 歯科助手, 塾の事務員, 展覧会の設営, 予備自衛官, SA(Student Assistant), 書店, アパレル, 学童保育

1年生の場合

私が時間割を組むときに工夫したことは、1日に多くの授業がある日は2限か3限をあけることです。メリットは余裕をもってお昼ご飯を食べることができる点です。昼食時には食堂がとても混雑するので、それを回避することができます。



	月	火	水	木	金
1	University English 1B	健康・スポーツ科学実習	University English 1A		人間行動学概論B
2	情報リテラシー				現代の部落問題
3			日本社会の歴史	環境と文化	
4	フランス語基礎1	世界のなかの日本経済		フランス語応用1	
5		文化構想学概論A	フランス語基礎1	初年次ゼミナール	

3年生の場合

僕は自分が所属している社会学コースの授業を中心に履修を組んでいます。3年生ともなれば実習や演習の内容が難しくなってくるので、そちらに集中するために少なめにしています。また、いろんな分野を学びたいので每期少しずつ他コースの授業を取っているのですが、今期は哲学と地理学、フランス語圏言語文化コースの授業を取りました。



	月	火	水	木	金
1					
2	インターカルチュラルスタディーズA			宗教学概論1	
3	社会学データ解析法			社会学質的研究法	
4		社会学演習2b		社会学実習1b	
5		地理学概論B			

公大文学部生はいずから...

北海道×2人、東京、福井、長野各1人、愛知×4人、兵庫×13人、京都×10人、奈良×7人、三重×3人、和歌山×3人、島根、広島、山口各1人、香川×2人、高知×2人、徳島、愛知、福岡各1人、大阪府外出身の公大生、総数57人に聞きした



下宿のメリット まとめてみた

- 時間が自由に使える
- 親のありがたさや大変さを知ることができる
- 大学から近い
- 家計管理を身に着けられる
- 一人で生きる力がつく
- 生活のペースが自分で決められる
- 電車の遅延を考えなくてもいい
- 下宿の友達が増える



貸

ボパウキ

資格・留学・進路

資格

教職免許

国語国文学コース 2年生

おおびき ゆい

大引 優依さん



Q 資格取得を目指そうと思ったきっかけは？

私は小学生の頃から教員に憧れており、国語の面白さを生徒たちに伝えたいと思ったからです。教職課程を履修するのは大変ですが、その分やりがいがあり自分自身の成長を感じられます。

Q 資格取得のために

意識して生活していることは？

まずは文学を楽しむ！そして教職の授業で習った考え方や教え方を塾のアルバイトで実践してみようというのをしています。また、副専攻で人権についての勉強をしており、柔軟に考え学び続ける姿勢を心がけています。

学芸員

表現文化コース 2年生

かみひがし はなえ

上東 華恵さん



Q 資格取得を目指そうと思ったきっかけは？

きっかけは、漠然と博物館や学芸員への憧れがあったことです。また、このような資格は卒業後に改めて取得することが難しいので、大学在学中に取っておきたいと思いました。

Q 資格取得のために

意識して生活していることは？

専攻の都合で必ずしも思い通りには進められないので、履修の計画性は大切です。加えて、実際に博物館へ足を運んだり自分の興味関心と結びつけたりすることで、新しい知恵や視点を獲得できるよう意識しています。

留学

フランス語圏言語文化コース 4年生

みやわき みなみ

宮脇 陽美さん



Q 留学しようと思った理由はなんですか？

一番は会話力の向上です。会話に対する瞬発力は会話でしか得られないことを実感していました。そのため、学生やホームステイ先の家族との交流を通してフランス語をより自分のものにするために留学を決めました。

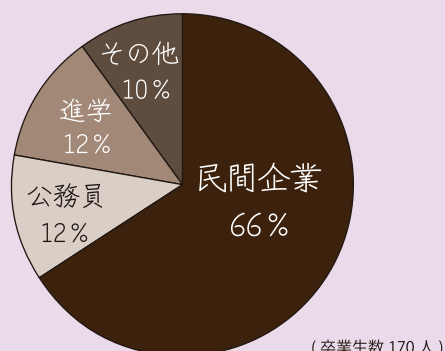
Q 留学経験が今の生活に

どう活きていると感じますか？

フランス語の授業での発言も以前より自信を持ってましたし、コミュニケーションもスムーズになりました。また、ホームステイの家族との交流も続いており、SNSを通してフランス語でやり取りできるようになりました。

就職

2024 年度卒業生進路割合



業種別割合

情報通信業 25%	運輸業、郵便業 4%
卸売業、小売業 13%	建設業 2%
製造業 11%	生活関連サービス業、娯楽業 2%
教育・学習支援 7%	宿泊業、飲食サービス業 1%
専門・技術サービス業 7%	医療・福祉 1%
不動産業、物品賃貸業 6%	農業、林業 1%
サービス業 5%	電気ガス・熱供給・水道業 1%
金融業、保険業 4%	公務 1%
	その他 1%

大阪公立大学
文学部・文学研究科

教育促進支援機構ってなに？

2003 年、文学部創設 50 周年を機に設立された「大阪公立大学文学部・文学部研究科教育促進支援機構」（通称「支援機構」）とは、学生と教員が協働しながら文学部・文学研究科に関わる多様な「学び」を支援する団体であり、その会員は文学部・文学研究科に所属するすべての学生・教員です。活動は有志の学生が主体となって企画・運営されており、「大学の学びとはいったいどのようなものなんだろう？」ということを知りやすく伝えること、そして活動を通して自らの学びを見つめ直すことを目的としています。ここでは、それぞれの活動に合わせて役割を担っている 5 つの班をご紹介します。

編集

皆さんが今お手持ちの当冊子「文学部案内」の企画・編集やその年度の卒業論文や支援機構の機関紙「フォーラム人文学」の刊行など、文学部にまつわる編集作業を行っています。

研究支援

文学部生・院生が主体となる研究活動を促進・サポートしています。勉強会、研究誌出版、教員との共同研究などに対する助成金支援や、優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞、研究奨励賞の表彰を主に行っています。

教育支援

大学の授業開始前の履修相談会、2 年次からのコース選択に向けたコースガイダンス、新入生歓迎キャンプを企画しています。1 年生の学びの第一歩を上回生がサポートできればと思い、取り組んでいます。

広報

主に公大文学部を目指す人や興味を持っている人を対象に、文学部生とのトーク企画などを行う「オープンキャンパス」、先生方による模擬授業で実際の学びを体験できる「春の公大授業」を担当し、公大文学部の魅力を外部の方に発信しています。

進路支援

文学部・文学研究科生に特化した就職活動セミナーなど、文学部生の卒業後の進路に関するイベントを開催しています。本年度はそれに加え、大学院進学セミナーも開催する予定です！過去には、進路について考えるワークショップや、進路を決めた先輩とのフリートーク企画も開催していました。

支援機構企画参加者の声

Q. この企画を通じて感じるやりがいや楽しさを教えてください。

様々なスキルが身につくことで、自分の成長を実感できることです。例えば、私は主にデザインを担当していたため、Illustrator や Photoshop といったソフトの使い方、読みやすいデザインやレイアウトの作り方を学ぶことができました。こういったスキルは発表スライド作りやチラシ作りなど、多様な場面で役に立っています。また、メールのマナーやチームで一つのものを作るにはどうすればいいかといったことも活動から学べたように思います。

Q. その企画に参加しようと思った理由を教えてください。

もともとデザインや校正といった編集作業に関心があり、大学では何らかの形でそういった活動をやっていたと考えていました。そんななか、入学してすぐの履修相談会で、学生主体で取材やデザインなどを行っているこの企画の存在を知りました。編集ソフトに触ったことがなく不安でしたが、先輩が丁寧に教えてくださると聞き、参加することにしました。

Q. 読者の皆様へ一言お願いします。

振り返ればハプニングや大変なこともたくさんありましたが、みんなの意見が尊重され、いつでも居心地が良い企画だったため、嫌だと思ったことは一度もありませんでした。私は編集班のおかげで良き友に出会い、貴重な経験ができました。少しでも興味がある方は、私たちと一緒に冊子を作ってみませんか？

文学部案内冊子の
編集に参加しました



哲学コース 4 年生
きたばやし みあか
北林 未朱さん